

宮崎配水塔更新工事

本工事は、平成 19 年度に実施した耐震診断の結果、レベル 1、2 地震動(震度 7 程度)共に配水塔底板部の耐震性不足が判明したことから、全面的な更新を行い、安全安定給水を確保するために 1 塔から 2 塔へ更新するものです。事業期間は、当初平成 26 年度から平成 28 年度の 3 年間で予定していましたが、現在、変更を行い、平成 30 年度までの 5 年間で予定しています。

工事名称 : 宮崎配水塔更新工事

施工場所 : 川崎市宮前区鷺沼 4 丁目 11-6 (宮崎配水塔内)

工 期 : 平成 26 年 10 月 20 日 ~ 平成 29 年 3 月 13 日(当初)

平成 31 年 3 月 29 日(変更)

施工会社 : 安藤ハザマ・東鉄・大恵共同企業体

宮崎配水塔は、鷺沼地区を中心に高津・宮前・多摩区の一部約 16 万人に配水する重要な施設であり、工事期間中も運用を継続する必要があるため、仮設配水塔を築造し、運用を行ってから、既設配水塔を撤去し、その跡地に新設配水塔を築造 2 塔築造します。(1 塔は仮設配水塔を曳家工法にて施工します。)

(1) 既設施設(1 池)

基礎形式 : 直接基礎

構 造 : 円筒形鉄筋コンクリート造
(周壁はプレストレストコンクリート)

内 径 : 20.0m

高 さ : 17.65m

有効水深 : 8.00m(水深 14.00m)

[H.W.L.: 100.00m L.W.L.: 92.00m]

(2) 仮設施設(1 池)

基礎形式 : 直接基礎

構 造 : ステンレス鋼製円筒形配水塔

内 径 : 14.5m

高 さ : 約 16.5m

有効水深 : 9.50m(水深 14.50m)

[H.W.L.: 101.50m L.W.L.: 92.00m]

曳家工法

(3) 新設施設(2 池)

【1号塔】

基礎形式 : 杭基礎

構 造 : ステンレス鋼製円筒形配水塔

内 径 : 14.5m

高 さ : 約 16.5m

有効水深 : 9.50m(水深 14.50m)

[H.W.L.: 101.50m L.W.L.: 92.00m]

【2号塔】

基礎形式 : 杭基礎

構 造 : ステンレス鋼製円筒形配水塔

内 径 : 13.5m

高 さ : 約 16.0m

有効水深 : 9.50m(水深 14.50m)

[H.W.L.: 101.50m L.W.L.: 92.00m]

更新スケジュール	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
設 計 ~ 入 札					
仮 設 配 水 塔 築 造					
既 設 配 水 塔 撤 去					
基 礎 築 造 (杭 打 設)					
2 号 塔 築 造					
仮設配水塔曳家(1号塔築造)					
公 園 整 備					

STEP.1 (既設配水塔にて運用)

- 敷地に余裕がないため隣接公園を工事期間中占有する
- 運用停止できないため、仮設配水塔(ステンレス鋼製)を築造する

STEP.2 (仮設配水塔にて運用)

- 仮設配水塔を運用し、既設配水塔を撤去する
- 新設配水塔用の杭基礎を施工する
- 新設配水塔(2 号塔)(ステンレス鋼製)を築造する

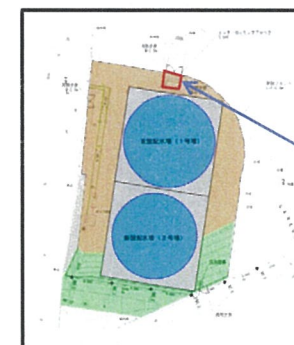
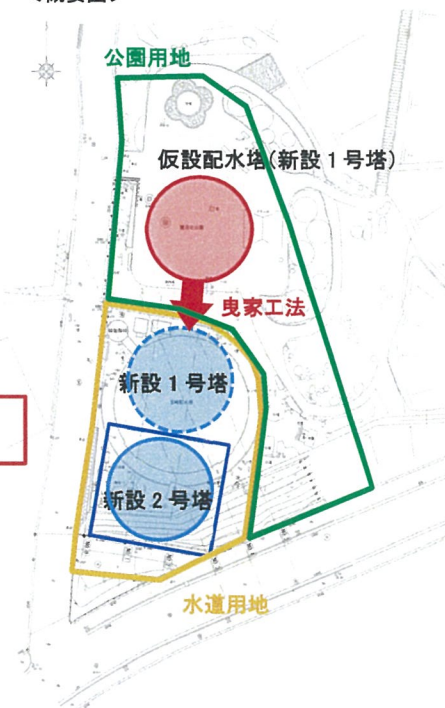
STEP.3 (新設 2 号塔にて運用)

- 運用を仮設配水塔から新設 2 号塔に切り替える
- 仮設配水塔を曳家工法により水道用地内へ移動させる

STEP.4 (新設 1 号塔、2 号塔にて運用)

- 曳家工法により移動させた新設 1 号塔を運用し 2 塔体制にする
- 開設不要型応急給水拠点、公園の整備を行う

<概要図>



開設不要型応急給水拠点(3 栓)

(完成イメージ)